

# グローバル補助金について

2013年2月23日

国際ロータリー第2660地区

ロータリー財団補助金管理セミナー

# 2660地区 2013-14年度 DDF

- 2013-14年度 GGのための当地区DDF金額  
約\$390,000  
(寄付等約\$186,000+繰越金約\$204,000)
- アンケート集計結果(回収率60%)  
既に\$253,000の使用予定額!
- 2013-14年度 当地区の条件
  - ① 提唱クラブの最低拠出金をDDF申請額の10%以上
  - ② 提唱クラブとしての年度内DDF申請を原則1件とする

# グローバル補助金の趣旨

\* 世界でよいことをしよう＋公共イメージの向上  
⇒世界で持続的・効果的な大規模PJを展開しよう

- ①PJ総予算規模は最低30,000ドル(WF下限\$15千)
- ②活動成果が測定可能で持続性があること
- ③海外のロータリー地区・クラブとの共同PJ
- ④6重点分野のPJに限定
- ⑤活動形態は、人道的PJ、職業研修チーム、奨学金

# 6つの重点分野

- ① 平和と紛争予防／紛争解決
- ② 疾病予防と治療
- ③ 水と衛生
- ④ 母子の健康
- ⑤ 基本的教育と識字率向上
- ⑥ 経済と地域社会の発展

# GGプロジェクトの活動内容

## \* 人道的プロジェクト

⇒大規模で測定可能な国際的な奉仕活動

## \* 奨学金

⇒大学院レベル・1～4年の研究

⇒派遣地区から海外の受入地区への留学

## \* 職業研修(VTT)

⇒専門職の職業研修チームの海外派遣等

⇒相手国との研究員の交換は不要

# GGプロジェクトの予算内訳

## ◆WFからの支給額

下限: \$ 15, 000 ~ 上限 \$ 200, 000  
(但し、\$ 100, 000以上は管理委員会審査)

## ◆2660地区(DDF)の支給額

~ 上限 \$ 50, 000

## ◆提唱クラブの拠出金(当地区の場合)

DDF申請額の10%以上の拠出が必要!  
(奨学金の場合は地区委員会と別途協議)

# GGプロジェクトの立案①

## ●共同提唱者と協力団体

共同提唱者(必須)⇒外国の実施(援助)国のRC・地区

協力団体(任意)⇒他団体(現地自治体、NPO等)

※事前に「協力団体とのMOU」の締結を！

## ●プロジェクト委員会の立上げ

委員には共同提唱国から3名のロータリアンが必要

TRFとの連絡窓口となる代表連絡担当者1名の任命

## ●ロータリアンが開始したPJであること！

# GGプロジェクトの立案②

## ● 目標の設定

地域のニーズ調査⇒基本データの収集

(自治体の統計、地域アンケート、受益者の数…)

(量的データ:数値、質的データ:意見・要望)

成果とその持続性が測定可能か

(受益者の主観的評価、客観的評価が調査可能か)

## ● 6つの重点分野を支える目標であること



# 人道的PJの申請

## ○成果の測定と持続性

- ・受益者(社会)の参加意志(熱意)、自発性(啓発)
- ・人材育成、施設の維持の資金的裏付け
- ・施設の維持・補修の部材が現地調達できるか

## ○測定方法の設定

(アンケート、統計、ロータリアン・専門家による評価)

## ○PJ完了後の施設・資料等の所有者(管理責任者)の確保

※補助金で購入した物品(機材・財産・資料など)をRCやロータリアンの所有にしてはならない!

# 職業研修チームの申請

## ○研修ニーズの調査方法

(アンケート結果、統計等、地域社会のニーズ)

## ○受益者の特定

## ○研修目標の設定(スキルアップ、知見の向上の測定)

## ○研修者のブラッシュアップ方法とその裏付け

(資金的裏付け、ブラッシュアップ手段の存在)

# PJ活動の報告

- **中間報告書**

- ⇒最初の補助金支給の受領後12か月以内に提出
- ⇒以後、12か月ごとに提出

- **最終報告書**

- ⇒プロジェクト完了後2か月以内に提出

# 成果のモニタリングと評価①

※「モニタリングと評価のツールキット」参照

⇒各重点分野目標の測定方法と評価基準を類型化

- 基本データ(ニーズ調査)とPJ実施後のデータの比較
- 量的データ(数値)と質的データ(体験談、感想、意見)
- 直接観察、座談会・面談、アンケート調査、検査、統計

# 成果のモニタリングと評価②

- 実施国のRC・地区(共同提唱者)の調査、報告
- 援助国のRC・地区の視察、監査
- 専門家団体による検査、調査
- 奨学生、研修生の意見、報告

# 効果測定費用の計上

## モニタリングと評価のための費用

- ・旅費
- ・外部専門家・調査会社の委託費用
- ・供給品の購入費 等

PJ総予算の5～10%を測定費用として計上可能

# 財務管理計画

## ● 予算化の際の注意事項

⇒ 物資、サービス価格の計上に当たっては、最も優れた物資、サービスを妥当な価格で入手するために最低3つの業者の見積もりを取り寄せることが望ましい。

## ● GG額を増やす目的での受益者から寄付はNG

## ● 目録システム！

⇒ 補助金での購入物資、製造施設等を所有する受益者の管理のために所在、物品名等を正確に記した目録を完備する。

# グローバル補助金申請日程

1. 資格認定(地区): 管理セミナー受講とMOU締結
2. 地区DDF申請受付: 2013年2月24日～  
⇒1～2週間後に申請クラブに結果通知
3. TRF申請受付: DDF申請受付後随時申請可  
(会員アクセスから申請前質問書で要事前チェック!)
4. TRFの審査: 2013年4月～



# グローバル補助金申請要項

- 申請はTRFに提唱クラブが直接オンラインで行う！
- 補助金交付
  - TRFの承認→提唱クラブの同意書→
  - 現金寄付受領 の確認・支払指示書の提出後
- 代表提唱クラブのDDF申請は年度内1案件を原則  
(2013-14年度当地区の条件)
- 提唱クラブはGGプロジェクトのDDFの10%を拠出  
(2013-14年度当地区の条件)

# ご清聴ありがとうございました

2012～2013年度  
国際ロータリー第2660地区  
財団FVP委員会委員  
大野康裕(大阪北RC)